



## 2024年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社アゴラ ホスピタリティグループ

上場取引所 東

コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) ウィニー・チュウ・ウィン・クワン

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 石井伸幸 TEL 03-3436-1860

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	5,989	15.3	131		162		9	
2023年12月期第3四半期	5,194	55.1	228		319		232	

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 196百万円 ( %) 2023年12月期第3四半期 207百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	0.04	0.04
2023年12月期第3四半期	0.92	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	20,340	6,478	17.5
2023年12月期	18,231	5,341	18.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 3,569百万円 2023年12月期 3,410百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		0.00	0.00
2024年12月期		0.00			
2024年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	10.8	400		350		150		0.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	281,708,934 株	2023年12月期	281,708,934 株
期末自己株式数	2024年12月期3Q	27,764,941 株	2023年12月期	27,764,630 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	253,944,122 株	2023年12月期3Q	253,944,365 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における売上高は、訪日外国人観光客の増加により前年同四半期を上回る5,989百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。宿泊事業における売上高は5,177百万円（前年同四半期比14.7%増）となりました。霊園事業及び住宅等不動産開発事業等を行っているその他投資事業の売上高は812百万円（前年同四半期比19.7%増）となりました。

営業費用については、継続的なコスト削減に努めておりますがエネルギーコストの増加、人件費の増加の影響もあり営業利益は131百万円（前年同四半期は営業損失228百万円）となりました。次に、営業外収益として持分法による投資利益100百万円を計上したことなどにより、営業外収益を163百万円計上しました。また、支払利息77百万円のほか、為替差損24百万円、ホテル不動産保有会社の借入金のリファイナンスにより資金調達費用11百万円を計上したことなどにより営業外費用132百万円を計上しました。それらの結果、経常利益は162百万円（前年同四半期は経常損失319百万円）となりました。また、非支配株主に帰属する四半期純利益38百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は9百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失232百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

#### ① 宿泊事業

当第3四半期連結累計期間における宿泊事業部門におきましては、2024年の1月から9月までの累計訪日外国客数は26,880,200人となり、9月時点で前年の年間累計である25,066,350人を上回る結果となりました。特に9月には訪日外国人の数が前年同月比で31.5%増加し、2,872,200人となり、海外からの観光需要が回復傾向にあります。特に中国や米国などの地域からの訪問者が増加しホテル業界にとってはプラスの要素となっております。当社の主要なホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺においては売上高1,922百万円（前年同四半期比10.7%増）、ホテル アゴーラ 大阪守口においては売上高1,094百万円（前年同四半期比6.3%増）となり、宿泊事業部門全体では売上高5,177百万円（前年同四半期比14.7%増）となりました。しかし、各宿泊施設の宿泊部門での売上高が回復している一方、レストラン、宴会部門での人員不足の影響が大きく、施設内で適正な人員配置を継続して行っておりますが営業時間の縮小や、一部店舗を休業し、メインレストランで提供を行うなどの対応を行っております。また、2024年の物価上昇が続く中で、当社におきましても特にエネルギーや食材のコストが上昇しており、また、賞与支払いなどにより人件費が増加しコスト増に直面しています。それを価格に転嫁するべく顧客に提供するサービスの付加価値を高め、客単価を引き上げる努力を続けた結果、営業利益は277百万円（前年同四半期は営業損失74百万円）となりました。

#### ② その他投資事業

2024年のマレーシアにおける霊園の購入者動向は、依然として堅調に推移しています。特に、コロナ禍を経て、家族が事前に墓地を購入する需要が増加しており、これは家族の負担を軽減するための計画的な購入として注目されています。また、土地の価格が高騰している都市部では、墓地の価格も高騰しており、郊外の霊園に対する需要も増加しております。また、文化的・宗教的要因が強い影響を持つ中華系の墓地が引き続き人気となっております。そのような中、当社の霊園事業におきましては、区画の引き渡しも堅調に推移し売上高は689百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は121百万円（前年同四半期比35.6%増）となりました。証券事業は営業利益100百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。それらの結果、その他投資事業部門における売上高は812百万円（前年同四半期比19.7%増）となり、前年同四半期を上回る営業利益233百万円（前年同四半期比163.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて11.6%増加し、20,340百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.4%減少し、4,867百万円となりました。これは、現金及び預金が360百万円、有価証券が118百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて18.9%増加し、15,444百万円となりました。これは、有形固定資産が2,646百万円増加したことなどによります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べて31.2%減少し、27百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.5%増加し、13,862百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.4%減少し、5,330百万円となりました。これは、その他流動負債が286百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて18.6%増加し、8,531百万円となりました。これは、長期借入金が1,327百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて21.3%増加し、6,478百万円となりました。これは、利益剰余金が9百万円及び非支配株主持分が978百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期の業績予想に対し、概ね想定通りに推移しており、現時点で業績予想の修正はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第3四半期連結累計期間において、世界的な新型コロナウイルスの回復が鮮明となり、営業利益131百万円、経常利益162百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円を計上しました。その一方で、新型コロナウイルスが蔓延し休業するなどした時期において生じた負債がまだ残存しております。その負債の解消には一定の期間を要するものと考えられることから、当社グループの資金繰りに懸念が生じており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、当該状況を解消すべく、2020年7月に当社グループが保有する賃貸不動産、2023年3月に当社が保有する固定資産を売却したほか、徹底した固定費の削減並びに金融機関からの運転資金の調達等により、当面の運転資金を確保しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,831,779	2,471,497
売掛金	537,397	478,686
有価証券	288,302	170,263
貯蔵品	93,737	53,155
開発事業等支出金	1,283,421	1,439,337
その他	188,619	265,740
貸倒引当金	△20,156	△11,071
流動資産合計	5,203,101	4,867,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,392,047	3,195,861
車両運搬具(純額)	6,320	15,198
工具、器具及び備品(純額)	81,172	73,057
土地	5,510,992	5,510,992
建設仮勘定	2,208,627	5,050,416
有形固定資産合計	11,199,160	13,845,527
無形固定資産		
ソフトウェア	11,869	9,963
のれん	831,448	722,054
無形固定資産合計	843,318	732,018
投資その他の資産		
投資有価証券	240,543	133,958
長期貸付金	519,687	529,454
その他	185,712	204,025
投資その他の資産合計	945,944	867,438
固定資産合計	12,988,422	15,444,984
繰延資産	40,292	27,716
資産合計	18,231,816	20,340,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	263,159	191,098
短期借入金	60,312	62,149
1年内返済予定の長期借入金	1,007,228	1,016,561
未払金	3,337,197	3,412,774
未払費用	33,349	26,029
未払法人税等	53,953	10,291
賞与引当金	83,848	43,006
その他	855,538	568,771
流動負債合計	5,694,586	5,330,683
固定負債		
長期借入金	6,616,132	7,943,703
長期預り保証金	208,337	226,600
資産除去債務	46,000	—
繰延税金負債	10,596	20,813
その他	314,262	340,364
固定負債合計	7,195,329	8,531,481
負債合計	12,889,915	13,862,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,534,406	8,534,406
資本剰余金	2,646,000	2,646,000
利益剰余金	△6,827,756	△6,817,843
自己株式	△1,033,540	△1,033,557
株主資本合計	3,319,110	3,329,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,011	—
為替換算調整勘定	67,869	240,201
その他の包括利益累計額合計	91,880	240,201
新株予約権	97,364	97,364
非支配株主持分	1,833,544	2,811,572
純資産合計	5,341,901	6,478,144
負債純資産合計	18,231,816	20,340,310

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	5,194,484	5,989,850
売上原価	3,902,238	4,100,961
売上総利益	1,292,245	1,888,889
販売費及び一般管理費	1,521,125	1,757,007
営業利益又は営業損失(△)	△228,879	131,881
営業外収益		
受取利息	10,829	15,782
受取配当金	2	—
受取家賃	5,268	5,268
為替差益	55,035	—
プリペイドカード失効益	786	738
有価証券売却益	—	23,283
持分法による投資利益	—	100,176
その他	11,757	17,861
営業外収益合計	83,681	163,111
営業外費用		
支払利息	67,815	77,137
資金調達費用	61,999	11,780
為替差損	—	24,658
持分法による投資損失	13,014	—
開業費償却	13,430	13,430
その他	18,341	5,920
営業外費用合計	174,601	132,928
経常利益又は経常損失(△)	△319,799	162,063
特別利益		
固定資産売却益	128,941	—
特別利益合計	128,941	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△190,857	162,063
法人税、住民税及び事業税	95,342	106,162
法人税等調整額	△9,456	7,799
法人税等合計	85,886	113,961
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△276,744	48,102
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,888	38,189
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△232,855	9,912



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△276,744	48,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,197	△24,011
為替換算調整勘定	51,410	172,331
その他の包括利益合計	69,607	148,320
四半期包括利益	△207,136	196,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△163,248	158,233
非支配株主に係る四半期包括利益	△43,888	38,189

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	236,230千円	237,022千円
のれんの償却額	109,393	109,393

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,515,783	678,701	5,194,484	—	5,194,484
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,515,783	678,701	5,194,484	—	5,194,484
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△74,061	88,537	14,476	△243,355	△228,879

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△243,355千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,177,508	812,342	5,989,850	—	5,989,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,177,508	812,342	5,989,850	—	5,989,850
セグメント利益	277,127	233,340	510,468	△378,587	131,881

(注) 1. セグメント利益の調整額△378,587千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。